

えちぜん鉄道活性化連携協議会

(福井県福井市)



過去の重大事故からバス代行を経て地域に真に必要な鉄道として発足した「えちぜん鉄道」を、重要な社会基盤として支え続けるため、地域住民・自治体・事業者が協働し、きめ細かいサービス・需要の掘り起こし等により利用増を実現し、地域鉄道として「よみがえり」を果たす。

(取組の概要)

1. 旅客サービスの向上

- アテンダントの乗務
 - ・乗車券販売に加え、乗継案内、乗降補助、観光案内などのサービス員を全国に先駆けて導入、その後全国へ波及



アテンダントの活躍

2. 利便性の向上

- 乗継利便性の向上
 - ・沿線の通学ニーズなどを踏まえ、「鉄道」、「軌道」の枠を超えた相互乗り入れを実現(えちぜん鉄道⇔福井鉄道)
 - ・えちぜん鉄道・福井鉄道間の乗継割引(最大25%割引)や共通1日フリーきっぷを設定
- 駅整備及び利用促進策等
 - ・地域の要望を受け、新駅(まつもと町屋)を設置
 - ・高齢者等に配慮したホームの改良や低床車両の導入
 - ・沿線自治体等による無料P&R駐車場の整備



地元小学生によるボランティア活動

3. 地域・関係事業者との連携

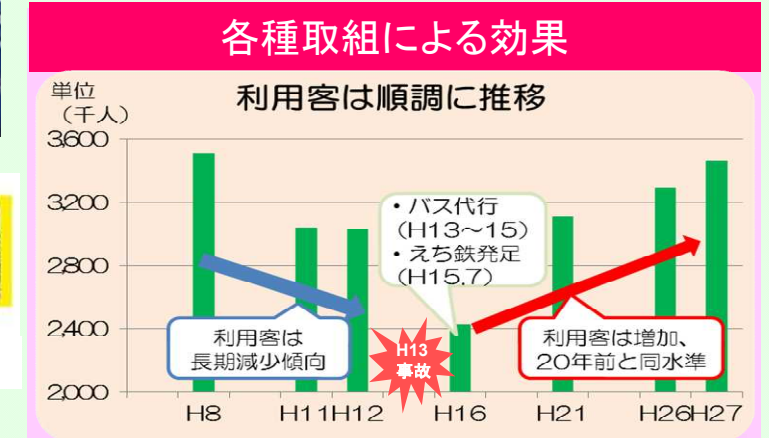
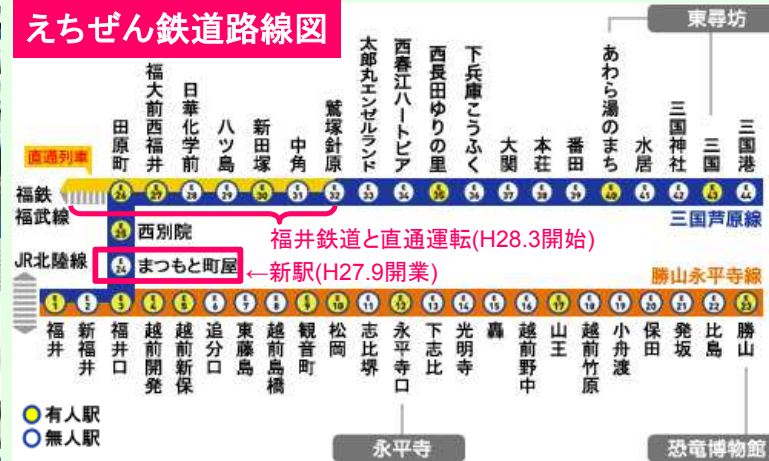
- サポーターズクラブの発足・活用
 - ・鉄道に「乗って残す」を掲げ、サポーター会が発足・活動
 - ・会員への運賃割引、協賛店等での割引や記念品の贈呈
- まちづくり、地域づくりとの連携
 - ・駅舎建替や駅前広場の整備、コミュニティセンター新設
 - ・地域交流拠点として駅前の喫茶店、店舗等の協力
- バス・鉄道の個別部会を設置
 - ・バス乗り継ぎ、鉄道相互利用の円滑化に向け部会で議論



サポーターズクラブ会員証



低床車両対応ホームの
新增設(右側)



福井鉄道へ乗り入れるえちぜん鉄道車両